

義務教育学校設置に向けた取組の経過

1. 主な経過報告

〈平成27年〉

12月 「王寺町教育振興ビジョン」策定

〈平成28年〉

5/18 第1回王寺町義務教育学校設置検討懇話会

7/29 第2回王寺町義務教育学校設置検討懇話会

10/20 第3回王寺町義務教育学校設置検討懇話会

11/22～24 タウンミーティング（参加者：187名）

22日：地域交流センター、23日：文化福祉センター、24日：泉の広場公民館

12/19 第1回総合教育会議

21 第4回王寺町義務教育学校設置検討懇話会

※「義務教育学校」を設置すべきであるという提言

12/27～H29. 1/23 基本方針（案）パブリックコメント（9名）

〈平成29年〉

1/18～22 スクールミーティング（参加者：174名）

※0歳～15歳のお子さんを持つ保護者を対象

18日：やわらぎ会館、20日：地域交流センター、22日：文化福祉センター

2/1 第2回総合教育会議

※「王寺町義務教育学校設置に向けた基本方針」承認・決定

3/22 基本方針について、町立幼稚園、小中学校教職員説明会（参加者：135名）

4/19～26 義務教育学校設置に向けた保護者説明会（参加者：509名）

19日：北小、20日：南幼小合同、21日：王小、25日：王幼、26日：北幼

5/14 義務教育学校（小中一貫教育）講演会（参加者：160名）

○第1部基調講演

「小中一貫教育はどのようなものか・義務教育学校で何が変わるのか」

講師 梶田 叡一氏：プール学院大学学監兼学校法人桃山学院教育顧問、

王寺町義務教育学校設置検討懇話会座長

○第2部パネルディスカッション

「これからの義務教育について」

（コーディネーター）小柳 和喜雄氏：奈良教育大学教職大学院教授

(パネリスト) 泉谷 仁氏:堺市教育委員会事務局学校教育部学校指導課長、
谷田 真知子氏:池田市立ほそごう学園副学園長、平井 康之王寺町長
(まとめ) 梶田 叡一氏

- 6/30 生駒北小中学校視察研修(教育委員・教育長・校長・教育委員会事務局)、
【仮称】王寺町義務教育学校(北)建設における基本計画策定業務を特定
事業者と契約
- 7/13 京都市立凌風学園視察研修(町長・副町長・理事・議会議長・副議長・議
員・校長・教育委員会事務局等)
- 8/15 教育課程プロジェクトチーム(以下PT)準備会議
・教育課程PTについて
・今年度の教育課程PT内容について 等
総務PT準備会議
・総務PTについて
・今年度の総務PT内容について 等
- 21 施設設備PT準備会議
・施設設備PTについて
・調査・研究等事項について
・今年度の施設設備PT内容、日程について 等
- 25 教育課程PT準備会議
・教育課程概要作成に向けて
・教育課程PT日程について 等
総務PT準備会議
・総務PT日程について 等
- 26 義務教育学校設置に向けた保護者説明会 片岡の里保育園(参加者:130名)
- 28 第1回王寺町義務教育学校推進委員会

2. 今後の主な予定

- 8/30 伏虎義務教育学校施設・授業風景視察研修(教職員対象)
- 9月 各PT1~2回会議予定
- 10/3 伏虎義務教育学校施設・授業風景視察研修(推進委員対象)

3. 視察研修実施校参考資料

《京都市立凌風学園概要 7月23日視察》

(1) 沿革

京都市街の中心地に位置する小中一貫校。平成24年4月1日に京都市立陶化中学校、京都市立陶化小学校、京都市立東和小学校、京都市立山王小学校を一体化し、9年間の義務教育校として設立。敷地は陶化中学校及び東和小学校の跡地。

(2) 所在地 京都府京都市南区東九条下殿田町 56

(3) 学校概要

- ・児童生徒数 726名（平成29年度） ・施設一体型（学年4-3-2区分）
- ・学園教育目標 「自らを高め 共に生き 希望を抱いて未来を拓く」

(4) 校舎概要

- ・校舎：鉄筋コンクリート 地上6階建て ・建設費：約43億円
- ・延床面積：約16,063㎡ ・敷地面積：約13,539㎡

(5) 施設面の特徴

○9学年が共に学ぶ、明るくゆとりある学習空間

- ・9学年すべての普通教室を校舎南側に配置。
- ・8×9mのゆとりある普通教室、児童生徒増にも対応できる多目的教室を配置。
- ・学年単位の集会や学習発表等の多様な教育活動に利用できるオープンスペース。
- ・5階南側に様々な学習活動や交流の場として活用できる広いバルコニーを設置。

○安心・安全・快適な校内環境

- ・職員室は、北側玄関と南側グラウンド（整備予定）の両方を見渡せる位置に配置。
- ・施設中央に吹き抜けの中庭（「光と風の庭」）を配置し、採光・通風を確保。
- ・全ての教室に空調を設置。

○地域の防災拠点としての学校

○地域の防災拠点としての学校

- ・避難所や情報発信所としての機能を整備。
- ・大体育館（3F）：約900㎡、ガストープ用ガスコック
- ・小体育館（1F）：約700㎡
- ・武道場（2F）：約260㎡、空調整備、畳敷き
- ・非常用発電設備、太陽光発電装置（10kw）、防災情報システム装置



《伏虎義務教育学校概要 8月30日視察予定》

(1) 沿革

平成29年4月1日 本町小学校・雄湊小学校・城北小学校・伏虎中学校の4校が統合。和歌山県下初の公立義務教育学校

(2) 所在地 和歌山市鷺ノ森南ノ丁1

(3) 学校概要

- ・児童生徒数 674人
- ・施設一体型 (学年4-3-2区分)

(4) 校舎概要

- ・校舎：鉄筋コンクリート一部5階建て ・建設費：約43億円
- ・延べ床面積：約13,800 m² ・総敷地面積：約22,900 m²
- ・教室区分等

2階は1・2年生と8年生(中2) 3階は3・4年生と9年生(中3) 4階は5、6年生と7年生(中1)

2～4階には各階の学年の授業を担当する教員が待機する「教師ステーション」を設置し、教員間の連携も図る。

窓が多い開放的な建物で、一部教室の床やロッカーには紀州材が使用され、温かみのあるつくりになっている。

1階に下駄箱や図書館、2～4階に教室。小中学生が交流しやすいような多目的教室などを多く設置する。

(5) 跡地活用

- 《伏虎中学校跡地》 ・ 県立医科大学薬学部 (平成33年4月開学予定)
- ・ 市民会館 (仮称) 市民文化交流センター (平成33年4月開館予定)
- 《雄湊小学校跡地》 ・ 学校法人青葉学園 東京医療保健大学 和歌山看護学部 (仮称)
- 《本町小学校跡地》 ・ 学校法人和歌山信愛女学院に誘致を交渉中